

よこはまユースレター

発行/公益財団法人よこはまユース
 tel.045-662-3716 fax.045-662-7645
 URL <http://yokohama-youth.jp/>
 Eメール soumu@yokohama-youth.jp

【報告】

成人年齢引き下げ

20 → 18

に関する勉強会

来年（2022年）4月から、民法改正により成人年齢※が20歳から18歳へ引き下げられます。よこはまユースでは、2年前から青少年に関わる人たちと「勉強会」を開催し、若者たちにどんな影響があるのか、彼らをどのようにサポートしていけばいいのかを学び合っています。本号では、昨年12月に実施した勉強会の内容を報告します。

※正確には「成年年齢」ですが、一般的に「成人年齢」という呼び方が定着しているため、本勉強会のタイトルでは後者を採用しています。



さくらリビング利用の若者たち。彼らにとって成人年齢の引き下げは、どんな影響があるのでしょうか。

この勉強会は、よこはまユースの調査・研究事業の一環として2回にわたって実施しました。第1回は、新横浜法律事務所の弁護士で、NPO法人子どもセンターてんぽの事務局長として子どもの自立支援にも関わっている高橋温先生を迎え、主に法改正による影響を学びました。第2回は、独立行政法人国立青少年教育振興機構青少年教育研究センターの研究者で、主にスウェーデンを対象に若者政策およびユースワークについて研究されている両角達平先生を迎えて、諸外国の制度や施策について話を伺いました。

■若者の社会参加への期待と課題

公職選挙法の選挙権年齢の引き下げ（2016年）、憲法改正国民投票の投票権年齢の引き下げ（2018年）に引き続き、民法においても、2022年4月1日に18歳に引き下げられ、成年の定義が変わることになります。これにより、若者の積極的な社会参加を促すだけでなく、若者の自己決定権が尊重されていくことにもなるわけですが、一方で、18歳を成年とすることには懸念されている点もあります。例えば、権利の行使よりも責任の拡大に焦点が当てられ、「自分たちでなんとかしなさい」という自己責任論に結び付けられるのではないかという点です。

■2022年に向けて

法律上の区切りはあるものの、「成年」の定義そのものを問い直す機会ともいえるいま、2人の講師からは、年齢による区切りに縛られすぎず“移行期としての若者に関わっていくのか”について、多くの示唆をいただきました。



よこはまユースとしても、若者の自己決定を尊重しつつ、社会の資源である若者とともに18歳成年社会を迎えるための取り組みを、引き続き進めてまいります。

【成人年齢引き下げに関する勉強会への問合せ】
 事業係 TEL:045-662-4170

青少年交流・活動支援スペース さくらリビング

青少年自身がつくる・考える、わたしたちの青少年施設

—「さくらリビング」の青少年委員が、活動を紹介します！—

「さくらリビング」を利用する人たちに少しでも楽しんでもらう、より好きになってもらえるようイベントを企画・開催しています。2020年5月にスタートした「さくらリビングオンライン」に続き、SNSにて「さくらビ新聞」を発行しました。コロナ禍の影響で例年のような大きなイベントは開催できませんでしたが、SNSを通して様々な情報を皆さんにお届けできました。新聞製作を通じて知識を深められたこと、そして自粛期間中、余ってしまった時間をSNSでの情報発信という新しい取り組みに挑戦する時間に変えられたことなど、私たち青少年委員にとって貴重な経験となりました。青少年委員の活動は少し形を変えながら、これからも続いていきます。

横浜の青少年の皆さん、青少年委員の活動に参加してみませんか？少しでも興味を持っていれば幸いです。

【第4期青少年委員 杉田 玲央さん(中学3年)】



オンラインを併用しながら、毎月定例会を実施しています

■青少年委員会の問合せ:さくらリビング TEL:045-263-8020

横浜市野島青少年研修センター

『動画配信しています！～カヌーに乗った気分～』



コロナ禍でイベントが実施出来ない中、映像コンテンツの充実に力を入れています。これまで、入所式や体験プログラムに関する映像を公開・発信してきましたが、野島の魅力を伝えるため、新たにカヌーから見た野島の様子を公開することにしました。水上からの野島や公園、湾や水路、浜などの風景、橋の下を通った映像など、普段見ることの出来ない角度からの映像となっております。実際にカヌーに乗っているかのような感覚で見ることが出来る映像に仕上がりました！

ぜひ QR コードからご覧ください→

*研修センターのHPでもご覧いただけます



放課後キッズクラブ

『楽しむ時間からうまれる豊かな個性』

～工作「ひな飾り～』（寺尾小キッズ）

マスク・手洗い・消毒・距離を保つといった習慣は子どもたちにすっかり定着し、スタッフが工夫を凝らした工作やゲームで楽しい時間を過ごしています。



ひな飾り作りでの出来事。「妹にみつからないようにしないと…」と、つぶやきながら手を動かす男の子がいました。どうやらサプライズプレゼントにしたい様子。

完成したひな飾りにエールを添えて送り出した後日、「成功したよーっ！」と嬉しそうに報告してくれました。過ごし方は変わりましたが、子どもたちの思いやりや自由な発想は育まれているようです。1日でも早く、たくさん子どもたちが元気に遊びまわり、にぎやかな声が聞こえる季節が訪れることを願うばかりです。

横浜市青少年育成センター

『若者による“オンラインボランティア”はじまりました』(2020.11～)

子ども・若者の居場所を発見・発信するオンラインボランティアが始まりました。

この活動は、横浜市内で活動する「子どもや若者にかかわる団体や個人」を若者自身が取材し、記事を書き、ソーシャルメディア【note】で発信するもので、現在、大学生を中心に約20人が登録しています。

参加しているボランティアたちの興味や関心は「なにかボランティア活動がしたかった」「子どもとかかわる仕事に興味がある」「まちづくりに関心がある」「大学の中では学べないことを学びたい」などそれぞれです。

12月には、1回目の取材をオンラインで実施しました。



青少年施設（さくらリビング）の職員に、若者たちがオンラインで取材しました

この活動の特徴はオンラインでも地域の人と出会える・知ることができることで、取材した若者は「経験談を聞いて面白かった」「地域で色々な活動があることがわかった」と様々な学びがあったようです。

一情報もりたくさん！よこはまユースの SNS —
ぜひ一度、のぞいてみてください！

- よこはまユースツイッター
<https://twitter.com/yokohamayouth>
- さくらリビングツイッター
https://twitter.com/sakura_living
- よこはまユースフェイスブック
<https://www.facebook.com/yokohama.youth.jp>
- 青少年育成センターフェイスブック
<https://www.facebook.com/yokohama.youth.ikusei.jp>
- 野島青少年研修センターYouTube チャンネル
<https://www.youtube.com/channel/UCYI5IWnKBw3fWokVnjO54Ow>
- note(育成センターオンラインボランティア)
<https://note.com/ikusei>



Thank you for your support.

ありがとうございました！

2020年12月1日から2021年2月28日までの寄附金

- ◆ユース賛助会費 51件 207,591円
- ◆一般寄附金 6件 24,000円

寄附金協力者（順不同、敬称略）

【団体】

JX-ENEOS 野球部OB会事務局/(株)杉浦商事/第一カーボン(株)/(有)武牛乳店/横浜市立綱島東小学校 PTA/ブックオフオンライン/三ツ境幼稚園/特定非営利活動法人よこはまチャイルドライン/横浜野球連盟

【個人】

荒井総平/池田加津男/石間千賀子/岩崎淳/太田京子/恩田幸一/笠原光子/川ノ邊直樹/桐原重孝/雲井耀一/酒井勝己/澤出吉秀/篠崎浩子/清水桂子/鈴木千代江/須藤守之/武久美子/中村輝次/仁平信哉/沼尾美/野田義男/橋本康正/馬場洋一/濱倉公子/藤島栄子/古澤竜夫/松井孝子/三橋ツネ/安田由美子/山本亜紀子/若木一美/和知典夫

新緑の季節には、各地で行われるウォーキング大会に参加するのが楽しみの1つでした。(30キロ歩きました！) コロナの影響で大会への参加もままならなくなりましたが、健康のためにも「歩く」ことは続けていきたいですね。(まっきー)